

自然エネルギー20/20 キャンペーン メッセージ

“自然エネルギー20/20”キャンペーン立ち上げ集会のご盛會を、心からお喜び申し上げます。

本日は、町内行事により出席できず誠に残念です。

風力発電のまち「苫前町」に於きましても、自然エネルギー促進のため2020年20%を目指して本キャンペーンを強力に推進する次第です。

我が国における自然エネルギーの普及促進は、本日ご参集いただいた皆様方のご協力なしに実現することはありません。

5つの目標によって本キャンペーンが大成功することを期待しております。

末筆になりましたが、関係各位の並々ならぬご尽力に敬意を表しますとともに、皆様方の今後ますますのご活躍を祈念いたします。

2006年11月30日
北海道苫前町長 森 利男

自然エネルギー20/20 キャンペーン メッセージ

“自然エネルギー20/20”キャンペーン立ち上げ集会を祝し、心よりお喜び申し上げます。

さて、風力発電をはじめとする自然エネルギーは言うまでもなく、地球温暖化防止対策の有効な手段の一つとされる他、地域振興策、非常用電源、離島振興策などとともに位置づけられ、今後の全国的な普及促進が切に待たれています。

更に、世界規模で化石燃料の枯渇が叫ばれる中、火力発電の代替エネルギーとして『自然エネルギー』の導入は欠かすことのできないものであります。

自然エネルギー20/20に掲げられた5つの目標により、我が国の自然エネルギー導入が促進され、2020年20%が達成できるよう風力発電推進市町村全国協議会としても強く推進する所存です。

末筆になりましたが、関係各位の並々ならぬご尽力に敬意を表しますとともに、皆様方の今後ますますのご活躍を祈念いたします。

2006年11月30日
風力発電推進市町村全国協議会
会長 北海道苫前町長 森 利男

意見書

自然エネルギーが大きく成長し、地球温暖化防止の切り札として期待されるような役割を果たすためには、政府による実効性のある公共政策の充実が不可欠であるが、その面での日本のエネルギー政策の現状は欧州諸国と比較してまだまだ不十分である。とりわけ、いわゆるRPS法において2010年までの全発電量に占める導入目標値が1.35%ときわめて低く設定されていることは、現実に自然エネルギー発電の参入を阻害する結果となって現れている。

そのため、2020年の導入目標値を20%へと大幅に引き上げ、その目標の実現に向けて実効性のある自然エネルギーへの支援措置を強力に推進することを求める。

また、欧州各国で実施されているように、法により電力会社に売電価格の倍額にて自然エネルギーによる発電を買い取る仕組みをぜひ実現して頂きたい。企業として成り立たないと安心して着手できない。仮に電力会社が総量の10%買い取りした場合、国民が負担する電気代が上がることになると思うが、地球温暖化防止対策として国民の総意は必ず得られると思います。

日田市長 大石 昭忠